

住宅用省エネルギー設備等導入促進事業

予算額 520,000千円 (H27 520,000千円)

1 事業の目的・概要

家庭における省エネルギー化を実現する「エコ住宅」の普及拡大を図るため、住宅用の太陽光発電設備や燃料電池（エネファーム）などの導入経費について、市町村と連携して助成を行います。また、年間を通じて温度が一定の地中の熱を利用することでエネルギー消費量を削減する「地中熱利用システム」を新たに助成対象に加え、再生可能エネルギーの一層の普及拡大を図ります。

2 事業内容

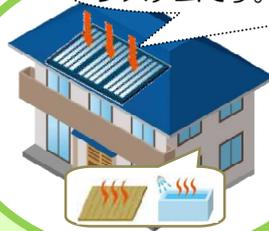
- (1) 住宅用省エネルギー設備等の導入経費に対する補助を実施する市町村に対し、予算の範囲内で県が補助金を交付します。
- (2) 県補助金を活用して、市町村が住宅用省エネルギー設備等を設置する住民の方に補助金を交付します。

3 補助対象

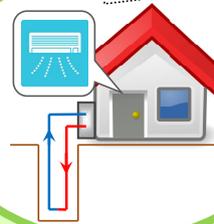
燃料電池（エネファーム）
ガスと空気から電気とお湯を作り出す、エネルギー効率の高い家庭用のシステムです。
【補助単価】10万円/件



太陽熱利用システム
太陽の熱で水や空気を温め、給湯や暖房に利用するシステムです。
【補助単価】5万円/件



地中熱利用システム【新規】
年間を通じて温度が一定の地中の熱を利用して効率よく空調等を行うシステムです。
【補助単価】10万円/件



太陽光発電設備
太陽電池を利用して太陽光から電気を作り出す設備です。
【補助単価】2万円/kW
(上限額 7万円/件)



家庭における取組を促進
◆再生可能エネルギーの導入
◆省エネルギーの推進



エネルギー管理システム（HEMS）
住宅全体のエネルギーの使用状況を確認したり、制御したりするシステムです。
【補助単価】1万円/件



電気自動車充電設備
電気自動車への充電や、蓄電池のように、電気自動車から住宅への給電ができます。
【補助単価】5万円/件



家庭用蓄電池
ためておいた電気を昼の電力需要ピーク時に使用したり、災害時に使用したりできます。
【補助単価】10万円/件

担当課・問い合わせ先
環境生活部循環型社会推進課
043-223-4139

生活排水対策浄化槽推進事業

予算額 300,000千円 (H27 300,000千円)

1 事業の目的・概要

生活排水による河川・湖沼・海の水質汚濁の防止及び富栄養化対策のため合併処理浄化槽の設置を促進することにより、生活排水対策を推進し、生活環境の保全及び公共用水域の水質保全に努めます。

2 事業内容

生活排水対策浄化槽推進事業 300,000千円 (H27 300,000千円)

市町村が実施する、単独処理浄化槽・くみ取り便所から合併処理浄化槽への転換や、高度処理型合併処理浄化槽の設置を促進する事業に対し助成します。

[補助先] 市町村

※印旛沼等の閉鎖性水域流域においては、高度処理型浄化槽の新規設置も助成

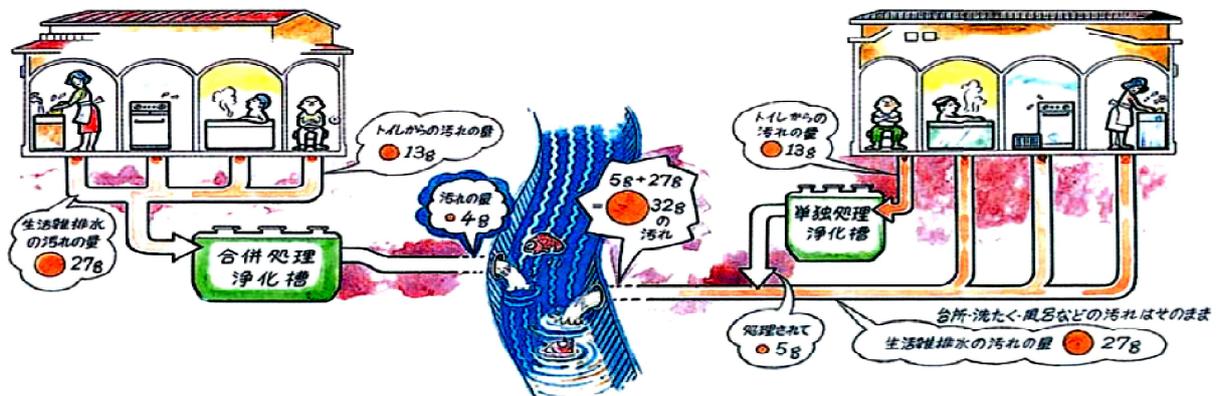
[補助対象経費]・設置費用（合併処理浄化槽本体及び本体工事費用）

・単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽への転換費用（撤去費用）

[補助率] <個人設置型> 1/3 <市町村設置型> 4/30

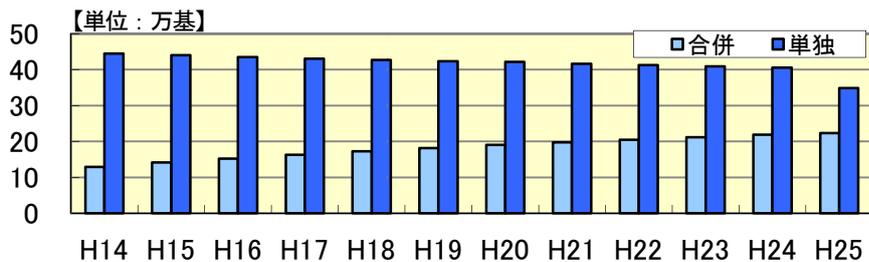
転換に係る撤去費用 1/2

● 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換による効果



合併処理浄化槽を設置した場合は、単独処理浄化槽に比べ、川などに放流される汚れの量が8分の1になります

● 県内に設置されている合併処理浄化槽と単独処理浄化槽の基数の推移



年々、単独処理浄化槽が減少し、合併処理浄化槽が増加しています

担当課・問い合わせ先
環境生活部水質保全課 043-223-3813

県内PCB使用製品及びPCB廃棄物に係る掘り起こし調査事業【新規】

予算額 15,000千円

1 事業の目的・概要

PCB廃棄物特別措置法により、平成39年3月31日までの廃棄処理が義務付けられているPCB廃棄物について、県内事業所における廃棄物の確認が進んでいないことが危惧されるため、その実態を把握する掘り起こし調査を実施し、適切な指導を行うことにより、期限内における計画的な処理を進めます。

2 事業内容

○事業者にてPCB廃棄物の保有状況等を調査し、PCB廃棄物の保管状況の届出をしていない事業者への届出書の提出指導等を行います。

(1) 調査方法

- ① 県内の自家用電気工作物設置事業者約22,000件に、調査票を送付（政令市・中核市を除く）
- ② 事業者からの問い合わせへの対応、未達事業者の所在調査
- ③ 調査票の回収、未回答事業者への回答依頼、未処理事業者一覧表の作成

(2) 県による指導

- ① 未届事業者に届出書提出指導
- ② 計画的な処理を指導（使用中の事業者には、計画的な使用中止⇒処理を指導）

	高濃度 PCB 廃棄物	低濃度 PCB 廃棄物
処理箇所	中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO) 〔トランス・コンデンサ：東京事業所〕 〔安定器等・汚染物：北海道事業所〕	無害化处理認定施設等（全国28カ所・平成27年11月26日現在）
処理期限	平成35年3月（トランス・コンデンサ） 平成36年3月（安定器等・汚染物）	平成39年3月

※下記のようなPCBを含む自家用電気工作物を所有する事業所が対象になります。

<トランス>



<コンデンサ>



<安定器>



担当課・問い合わせ先

環境生活部廃棄物指導課

043-223-2757

外来種特別対策事業

予算額 48,461千円 (H27 42,921千円)

1 事業の目的・概要

特定外来生物のうち、生態系や農林水産業等への影響を及ぼすおそれがあり、緊急な対策が必要なカミツキガメ、アカゲザル、アライグマ、キョンについて、県全域で計画的な防除を実施します。

2 事業内容

○カミツキガメ 10,741千円 (H27 8,412千円)

印旛沼水系では、カミツキガメの捕獲数が増加しており、生息数の増加が推測されること、また、新たな生息場所が確認されていることから、わな設置の地点を増加して捕獲を強化するとともに、発信機を用いた行動調査等により生態を明らかにし、効果的な捕獲方法について検討します。

〔防除実施地域〕 印旛沼水系

○アカゲザル 25,000千円 (H27 22,250千円)

ニホンザルの地域個体群の保護及び農業被害等の防止のため、アカゲザル及びニホンザルとの交雑個体を捕獲します。

これまでの生息状況調査の結果、新たに行動範囲が把握できた群れの捕獲を行うため、大型囲いわなを増設します。

〔防除実施地域〕

アカゲザル対策：房総半島南部

交雑個体対策：ニホンザルとの交雑率の高い地域から優先して実施

○アライグマ 3,533千円 (H27 3,559千円)

生態系や農業等への被害防止を図るため、捕獲を行うとともに、アライグマ防除に関する普及啓発、捕獲技術向上のため講習会等を開催します。

〔防除実施地域〕 県内全域

○キョン 9,187千円 (H27 8,700千円)

生態系や農業等への被害防止を図るため、捕獲を行うとともに、生息数や生態等の調査を行います。

〔防除実施地域〕 夷隅地域及びその周辺地域

カミツキガメ



アカゲザル
(池田文隆氏撮影)



アライグマ



キョン



担当課・問い合わせ先

環境生活部自然保護課 043-223-2058

全国「みどりの愛護」のつどい開催事業

予算額 140,570千円 (H27 98,427千円)

1 事業の目的・概要

都市緑化活動に対する意識の高揚を図り、緑豊かな潤いのある住みよい環境づくりを推進するため、第27回全国「みどりの愛護」のつどいを開催します。

【全国「みどりの愛護」のつどいの開催概要】(本県開催は初)

全国「みどりの愛護」のつどいは、「みどりの日」制定の趣旨を踏まえ、都市の緑化活動等に取り組む団体の関係者が一堂に集い、広く都市緑化意識の高揚を図り、緑豊かな潤いのある住みよい環境づくりを推進することを目的に平成2年から実施しています。

開催日：平成28年6月12日(日)

会場：県立柏の葉公園

内容：功労者表彰(国土交通大臣・千葉県知事)、緑化推進関係団体の活動事例紹介、記念植樹

2 事業内容

(1) 式典開催経費 55,370千円

会場の設営等の事前準備を進めるとともに、式典当日の運営を行います。

(2) 警備経費 85,200千円

式典の開催に万全を期すため、会場等の警備を行います。



第26回全国「みどりの愛護」のつどい式典

- ・開催日：平成27年5月30日
- ・開催地：宮崎県総合文化公園(宮崎市)

記念植樹

担当課・問い合わせ先
県土整備部都市整備局公園緑地課
043-223-3995
警察本部公安第二課
043-201-0110 (内線5611)

「県民の日」事業

予算額 60,000千円 (H27 60,000千円)

1 「県民の日」事業

県民が「県民の日」(6月15日)を通して千葉の魅力を再発見し、千葉アイデンティティを醸成できるよう、千葉の文化や歴史、自然産業等に触れ、体感できる行事等を県内各地で実施します。



2 事業内容

(1) 県民の日中央行事 46,000千円

多くの県民が千葉の魅力を再発見し、ふるさと千葉への愛着を深めることができるよう、県民の日「中央行事」として幅広い世代の県民が楽しめる参加・体験型イベントを実施します。

《日程》平成28年6月19日(日)

《会場》幕張メッセ第6ホール

(2) 県民の日地域行事 11,000千円

地域振興事務所のある10地域及び県民生活・文化課(千葉市・市原市地域分)の合計11地域で県民の日地域実行委員会を組織し、地域の特色を活かしたイベントを実施します。

(3) 県民の日事業広報(パンフレット) 3,000千円

県民の日中央行事、地域行事及び県民の日の趣旨に賛同した企業・団体等が実施する各種割引や施設の無料開放などを広く県民に周知するため、パンフレットを作成し、県内市町村、学校等に配布します。



県産品等の販売



千葉の伝統芸能



体験プログラム

【参考】平成27年度 県民の日はワクワクフェスタ2015実施結果

開催日・場所：平成27年6月14日(日)／幕張メッセ展示ホール7

実施プログラム：舞之祭 in 幕張、県民の日スペシャルコンサート、県産品の販売、各種体験 など

来場者数：約11,000人

担当課・問い合わせ先

環境生活部県民生活・文化課

043-223-2408

現代産業科学館特別展の開催

予算額 13,716千円

1 事業の目的・概要

産業に応用された科学技術を紹介する現代産業科学館において、県内の特色ある鉄道を中心に、その魅力と高い安全性を保つための技術、鉄道の未来等について、関連する産業技術とともに紹介します。

2 事業の内容

(1) 千葉の鉄道

成田国際空港への産業物資や利用者の輸送はもとより、美しい海岸線や緑あふれる房総丘陵の山並みといった「旅の舞台」として豊かな自然を満喫できる観光鉄道に注目し、千葉で活躍する鉄道の特徴・魅力を紹介します。

(2) 鉄道技術

交通・鉄道システム、土木・インフラ技術、車両・インテリア、旅客サービスなど、現代の鉄道を支える様々な技術を紹介します。

(3) 鉄道技術の未来

安全性のさらなる向上や省エネルギー化、高速化・輸送力増強に向けて研究が進められている未来の鉄道技術を紹介します。



スカイライナー二分の一カットモデル
(提供：京成電鉄株式会社)



トレインシミュレーターのイメージ

担当課・問い合わせ先
教育庁教育振興部文化財課
043-223-4127